



携帯電話に関する市場調査報告書

～スマートフォン市場成熟化から新たなステージへ～

携帯電話WG(総合企画部)

目的

携帯電話WGでは、携帯電話の市場動向の把握、業界自主統計の整備、市場における課題の把握と対応や新規需要の創造および市場育成を目的として、平成26年度の活動を行った。業界自主統計だけでは把握できない国内需要台数を推計するとともに、2020年までの見通しをとりまとめた。

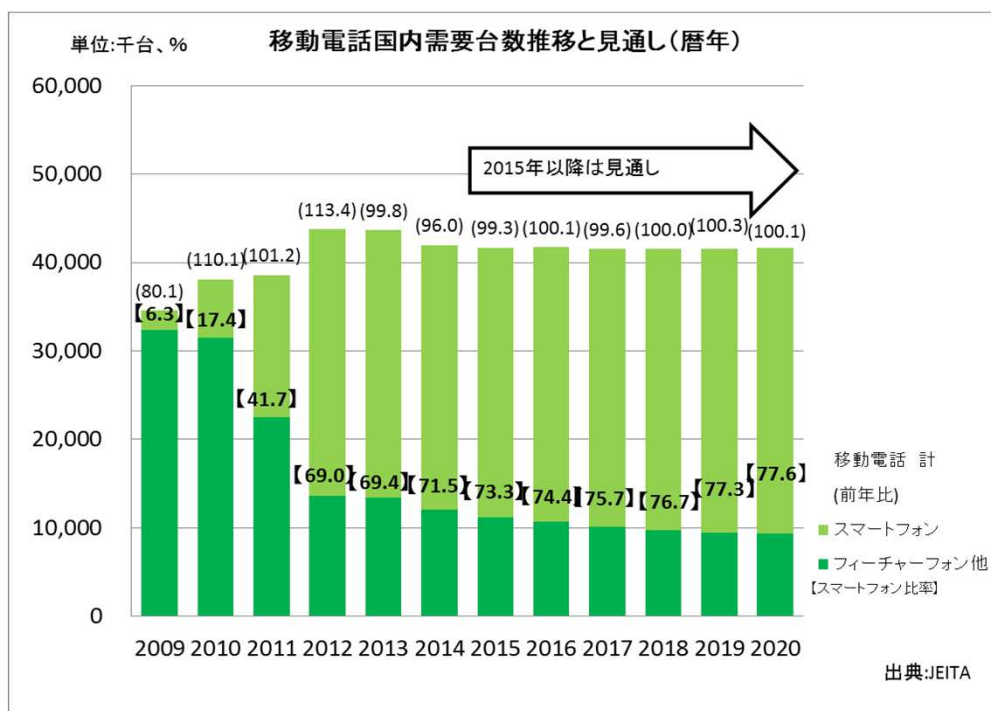
また、本WGで実施した販売店調査や専門家ヒアリングなどの調査結果より浮かび上がった市場の課題を整理した。

背景

スマートフォンの急速な市場拡大、そして、LTEサービスの開始により、高速通信環境は急速に拡大し、様々なサービスが広がった。その結果、利用シーンが増えたことで、状況に応じて端末の使い分けをする「複数台持ち」の人口が増えた。また、格安SIMサービスの認知度の向上や、SIMフリー義務化など、携帯電話市場は絶え間なく変化しており、ウェアラブル端末への拡まりも含め、本市場への期待は今後も続くと考えられる。

国内需要台数推計と2020年までの見通し

統計参加外企業を含めた2014年における日本市場全体の需要台数は、41,872千台、前年比96.0%と2年連続でマイナスとなった。うち、スマートフォンは29,928千台、前年比99.0%、スマートフォン比率は2013年の69.4%から71.5%に微増となった。2015年以降の国内需要台数は、ほぼ横ばいで推移、2020年には41,622千台、スマートフォン比率は77.6%に達するものと見通した。2020年東京五輪に向け、便利なツールとして発展し、色々な利活用シーンへ広げることで、スマートフォンとその周辺市場の拡大につながっていくものと考えられる。また、2020年の実用化に向けた5Gの開発など、高速化、大容量化が可能な通信技術の導入により、更なる利便性向上や新たなビジネスが創造されることが期待される。



世界市場における携帯電話の現状と将来に関する調査

2015年の携帯電話の世界生産台数は17億4,602万台、前年比106.4%と見通した。また、スマートフォン比率についても2015年には8割を越える見通しである。新興諸国向けの廉価版スマートフォンが市場を牽引し、スマートフォンは世界的に需要が急拡大すると考えられる。更に、世界的にフィーチャーフォンからスマートフォンへシフトに急激にシフトしているため、LTE商用サービスを導入するキャリアが急速に拡大し、LTEへの投資拡大は今後も続くと見込まれる。

また、2014年には米国を中心にスマートフォンと連携して新たな利活用シーンを提供する「ウェアラブル端末」のラインアップも増え、今後更なる市場の広がりが期待できる。

販売店調査・新モデル調査・日本市場の課題調査

販売店調査では、「iPhone」のブランド力は圧倒的であり、スマートフォンのデザインは、持ちやすさが重要視されている。また、買い替えパターンはスマートフォンからスマートフォンが中心であるが、フィーチャーフォンからフィーチャーフォンへ買い替えるユーザも一定数おり、その他、利便性を考慮して、フィーチャーフォンとタブレット端末の2台持ちといった使い分けをしているユーザも多く見られる。

新モデル調査では、品目カテゴリの構成比や画面サイズの変化が見られた。スマートフォンの画面サイズは大型化がさらに進み、5インチ以上が6割を超えた。海外メーカーブランドのスマートフォンモデルの比率は全体で50%弱、2013年から大きな変化は無く、今後も同様の傾向が続くと考える。

しかし、SIMフリーやMVNOを背景とした格安スマートフォンの登場により、ユーザは通信料金が安い端末を利用できることから、通信事業者以外の異業種からスマートフォン市場へ参入してきている現状もある。専門家ヒアリングでは、今後、通信料金やサービスの競争が激化していくことが考えられるとの指摘もあり、今後の動向が注目されている。

刊行案内・目次

■書名：携帯電話に関する市場調査報告書
～スマートフォン市場成熟化から新たなステージへ～

■サイズ：A4判70頁（2015年3月）

■頒価：一般 21,600円／会員 10,800円（税込）

■発行：一般社団法人 電子情報技術産業協会

■編著：移動電話WG

■目次：

第1章 調査の概要

第2章 日本市場における携帯電話の将来に関する調査

2.1 調査の概要

2.2 携帯電話の日本市場(内需)動向

2.3 携帯電話の国内出荷（統計実績）動向

2.4 公衆用PHSの国内出荷（統計実績）動向

2.5 日本市場におけるトピックス

第3章 世界市場における携帯電話の現状と将来に関する調査

3.1 調査の概要

3.2 携帯電話の世界市場動向

3.3 世界市場におけるトピックス

第4章 携帯電話を取り巻く日本市場の現状に関する調査

4.1 販売店の現状調査

4.2 日本市場における電気通信事業者の新モデル調査

4.3 日本市場における携帯電話の課題に関するヒアリング

第5章 まとめ

5.1 2014年度調査のまとめと考察

5.2 携帯電話市場に関する課題

5.3 今後の活動

JEITAサービスセンタ、HPにて頒布中
<http://www.jeita.or.jp/japanese/public/>